

横浜みどりアップ計画について



横浜みどりアップ計画とは

横浜は大都市でありながら、市民生活の身近な場所に、多くの樹林地や農地などの多様な緑を有しています。

これらの緑の減少に歯止めをかけ、「緑豊かなまち横浜」を次世代に継承するため、「横浜みどり税」を財源の一部に活用した重点的な取組として「横浜みどりアップ計画」を推進しています。

横浜みどりアップ計画の位置づけ



横浜みどりアップ計画と横浜みどり税のはじまり①

緑の取組を進める上での課題

- 都市化の進展に伴い、多くの緑が失われてきた
- 市内の樹林地の大半は民有地
- 残された緑を次世代に引き継ぐには、土地所有者の理解と協力が不可欠

維持管理負担・相続

安定的かつ機動的な財源確保が必須の課題

横浜みどりアップ計画と 横浜みどり税のはじまり②

「横浜みどり税」の検討

横浜市税制研究会 最終報告

- ▶ 新たな税負担を求める場合は、市民の理解と納得が得られるかどうか極めて重要
- ▶ どのような使い方がされ、どのような効果があったかという効果検証、さらには施策の提言等についても、市民参画の仕組みを作ることが重要
- ▶ 緑が持つ多面的な機能の受益は市民である個人・法人に広く及ぶ点を考慮すると、市民税均等割への超過課税によって、多くの市民に広く薄く負担を求める方法によることがふさわしい

横浜みどりアップ計画と 横浜みどり税のはじまり③

みどり税条例の施行とみどりアップ計画の策定

税制研究会(最終報告)

市民アンケート

市民意見募集

2008(平成20)年12月

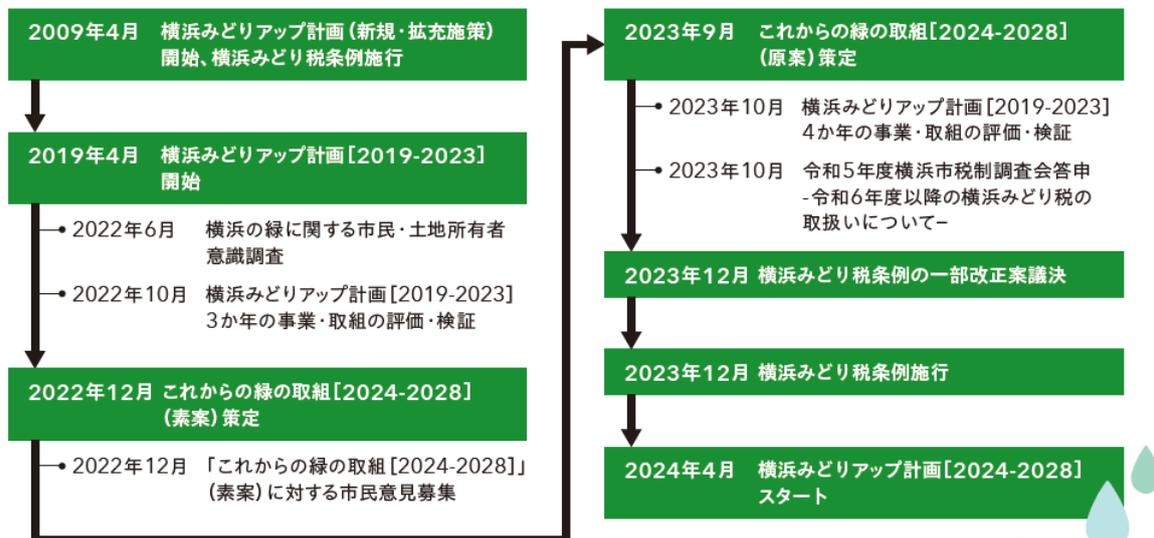
横浜みどり税条例が市会本会議で附帯意見を付けて可決

2009(平成21)年4月

横浜みどりアップ計画(新規・拡充施策)スタート

横浜みどりアップ計画[2024-2028]

「横浜みどりアップ計画[2024-2028]」策定の経緯



資料3

横浜みどりアップ計画[2024-2028]

17ページをご覧ください